

主から賜る祝福

王は主に信頼し

いと高き方の慈しみにより、揺らぐことはない。(8)

神に立てられた王にとって最も大切な姿勢は、神から力を受けて国を治めるということでした。自分の知恵や力を頼みとするのではなく、神に信頼し、神に支えられて立つのです。そのとき、神はご自分に信頼する王を決して見捨てることなく、国を治めるに必要な祝福を豊かに与えてくださいます。「王は主に信頼し／いと高き方の慈しみにより、揺らぐことはない」。戦車や軍馬に頼るのではなく、生きておられる神に信頼して生きる、これこそイスラエルの王に求められている姿勢でした。私たちも、自分で自分を支えて生きようとするならば、実に不安定な人生となります。私たちの手に負えない出来事が次々と起こってくるからです。イスラエルの王に倣い、私たちの主に全幅の信頼を寄せようではありませんか。主は私たちを永遠の御腕をもって支えてくださいます。